

山都町道路舗装維持管理計画

平成 29 年 6 月

山都町役場 建設課

目次

第1章 概要	1
1-1 策定の目的	1
1-2 対象路線	1
第2章 基本方針の策定	4
2-1 目標管理水準の設定	4
2-2 必要要素の設定	7
第3章 舗装修繕工法及び概算工事コストの検討	22
3-1 想定補修工法の決定	22
3-2 概算工事コストの算出	27
3-3 路線毎の概算工事コストの算出	28
第4章 舗装整備優先順位の検討	30
第5章 舗装修繕計画（10ヵ年）策定	36

第1章 概要

1-1 策定の目的

山都町が管理する1級、2級町道の道路舗装について整備の優先度の検討、修繕工法、概算工事費を算出し、安全で円滑な交通の確保および今後の道路維持管理を効果的にを行うことを目的として策定する。

1-2 対象路線

本計画の対象となる路線は、図1.1に示す熊本県山都町管内の山都町が管理する1級、2級町道とする。

図1.1 業務対象位置図

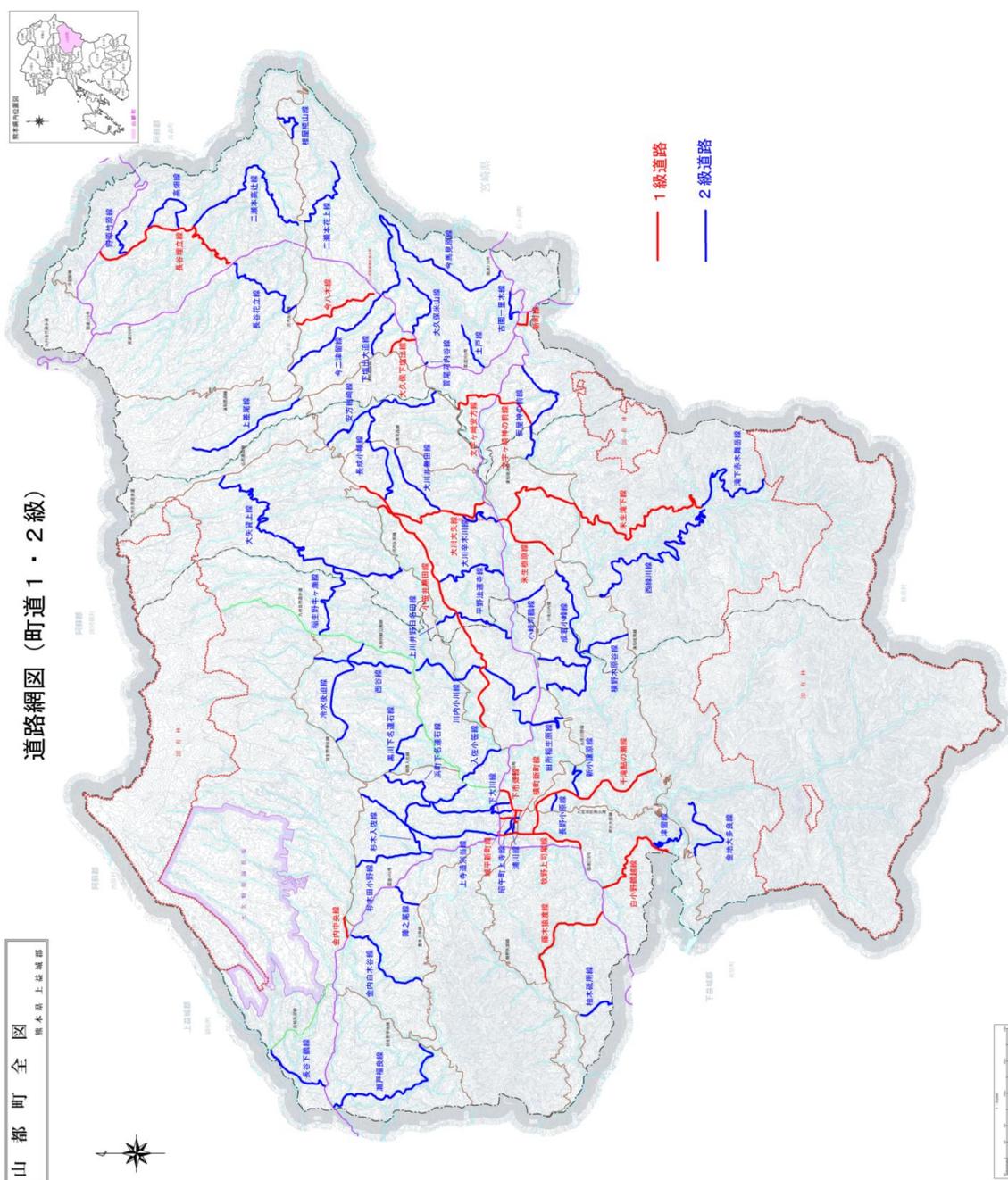


表 1.1 対象路線一覧 (1 級町道)

路線番号	路線名称	道路延長 (m)
1	小笹井無田線	9,886.10
2	下市畑線	1,100.00
3	牧野上司尾線	3,044.70
4	千滝鮎の瀬線	5,746.00
5	藤木猿渡線	3,888.60
6	白小野鶴越線	4,021.50
7	横町新町線	456.70
9	米生滝下線	11,054.60
11	米生栃原線	2,523.00
12	今八木線	3,123.00
13	長谷埋立線	6,091.50
14	新町線	721.00
15	金内中央線	706.70
16	文字ヶ崎安方線	1,660.00
17	大久保下塩出線	1,042.10
18	大川大矢線	8,461.60
19	文字ヶ崎神の前線	1,544.30
20	城平新町線	511.80

表 1.2 対象路線一覧 (2 級町道)

路線番号	路線名称	道路延長 (m)
101	稲生野牛が瀬線	6,224.90
102	上川井野日名田線	3,312.60
103	横野木原谷線	5,094.10
104	成君小峰線	5,808.60
105	仮屋神の前線	4,607.80
106	川内小川線	5,444.00
107	杉木田小野線	2,691.70
108	上寺造別当線	5,049.10
109	冷水後迫線	4,385.60
110	浜町下名連石線	6,275.90
111	新小譲原線	1,659.00
112	瀬戸福良線	5,785.90
113	長谷下鶴線	2,354.60
114	金地大多良線	3,686.60

路線番号	路線名称	道路延長 (m)
115	津留線	2,900.20
116	金内白木谷線	3,591.00
117	柚木砥用線	1,559.40
118	黒川下名連石線	2,298.10
119	浦川線	378.70
120	昭午町上寺線	802.60
121	下大川線	588.60
122	田所稻生原線	2,519.00
123	西谷線	3,452.20
124	陣之尾線	1,308.00
125	杉木入佐線	4,293.20
126	入佐小笹線	1,793.30
127	長野小原線	479.60
128	小峰河鶴線	1,129.00
129	西緑川線	11,155.30
130	安方組崎線	4,839.70
131	長成小幡線	3,929.10
132	大矢貸上線	8,474.60
133	大川井無田線	2,610.30
134	平野法連寺線	3,501.60
135	滝下赤木舞岳線	5,137.30
136	今馬見原線	9,670.00
137	二瀬本高辻線	6,700.50
138	大久保米山線	2,407.00
139	土戸線	1,628.90
141	長谷花立線	4,036.80
142	野原竹原線	1,892.20
143	二瀬本花上線	4,282.00
144	今二津留線	4,130.00
145	菅尾河内谷線	52.00
146	上差尾線	4,167.50
147	高畑線	3,534.30
148	下塩出大迫線	1,744.80
149	大川辛木川線	1,887.00
150	古園一里木線	1,440.40
151	椎屋椈山線	1,694.20

第2章 基本方針の策定

2-1 目標管理水準の設定

舗装の維持管理の目標となる水準の設定は、舗装の劣化状況を踏まえた緊急に修繕が必要となる区間「要修繕区間」と5年後までに修繕が必要と仮定される区間「修繕候補区間」について、ひび割れ率とわだち掘れ量を設定する。

目標管理水準は、アンケート調査の結果から表2.1のとおり設定した。

表2.1 目標管理水準

区分	ひび割れ率及びわだち掘れ量
修繕候補区間	ひび割れ率 \geq 20% または わだち掘れ量 \geq 30mm
要修繕区間	ひび割れ率 \geq 40% または わだち掘れ量 \geq 40mm

道路管理者として適切と考える目標管理水準についてのアンケート調査の結果

表 目標管理水準の平均値と最多回答値

項目	平均値	最多回答値
ひび割れ率 (%)	22%	20%
わだち掘れ量 (mm)	25mm	30mm

表 管理限界の平均値と最多回答値

項目	平均値	最多回答値
ひび割れ率 (%)	35%	30%
わだち掘れ量 (mm)	35mm	40mm

資料：「舗装の計画的な管理手法に関する研究」
土木技術資料 Vol. 41, No. 1, p64-69, 1999. 1

参考 ひび割れに関する比較判定用の写真

資料：総点検実施要領（案）舗装編（国土交通省 道路局、平成 25 年 2 月）

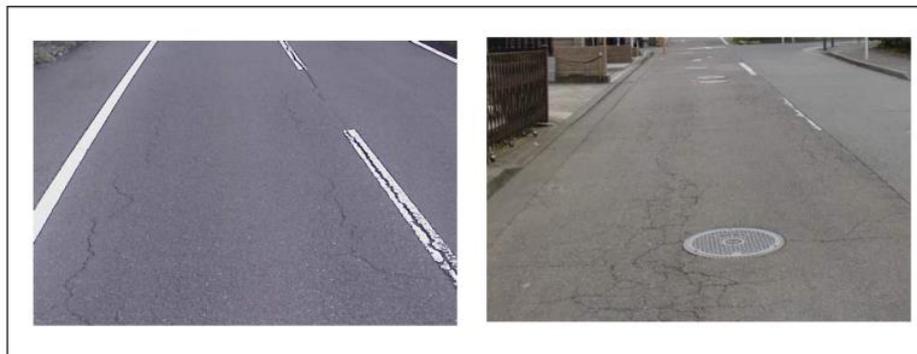
損傷レベル：小（ひび割れ率 0～20%程度）

- ・ひび割れの発生が認められない：0%、
- ・縦断方向に 1 本連続的に発生：概ね 10%
- ・左右両輪の通過部で縦断方向に 1 本ずつ連続的に発生：概ね 20%
- ・評価単位区間内で片側の車輪通過部で複数本又は亀甲状に発生：概ね 20%



損傷レベル：中（ひび割れ率 20～40%程度）

- ・ひび割れが左右両輪の通過部で発生し、かつ片側の車輪通過部ではひび割れが縦横に派生するなど複数本発生：概ね 30%
- ・ひび割れが左右両輪の通過部で発生し、かつ片側の車輪通過部ではひび割れが亀甲状に発生：概ね 40%



損傷レベル：大（ひび割れ率 40%程度以上）

- ・ひび割れが左右両輪の通過部でそれぞれ亀甲状に発生：概ね 50%～60%
- ・ひび割れが車線内全面に渡り亀甲状に発生：概ね 80～100%



参考 わだち掘れに関する比較判定用の写真

資料：総点検実施要領（案）舗装編（国土交通省 道路局、平成 25 年 2 月）

損傷レベル：小（わだち掘れ量 0～20mm 程度）

注）わだち掘れ量は、車線内の横断方向の一断面内で、最高地点と最低地点の差（深さ）に概ね相当（ただし、横断勾配による影響は除く。）。ただし、アスファルト舗装であれば、供用直後で初期わだちとして 5mm 程度は発生している。



損傷レベル：中（わだち掘れ量 20～40mm 程度）



損傷レベル：大（わだち掘れ量 40mm 程度以上）



2-2 必要要素の設定

修繕計画の策定にあたっては、効率的な舗装の維持管理を実現するため、修繕の優先性を明確にし、適切な時期に修繕を行うことが重要である。そのため、本計画では①舗装劣化度と②施設重要度から修繕計画の必要要素を設定する。

優先順位は、舗装劣化度と施設重要度から各区間において判定し、優先して修繕すべき区間を抽出する。優先順位の判定は、舗装劣化度と施設重要度に点数(評価点)を付与し、定量的に判定する。

① 舗装劣化度

舗装劣化度はひび割れ率とわだち掘れ量を評価指標として設定し、調査時点で目標管理水準を下回っているかの観点から評価する。

② 施設重要度

舗装劣化は道路利用者(通行車両・歩行者)のみならず、沿道施設や住民に対しても大きな影響を及ぼすものと考えられる。施設重要度はその点を考慮し、「安全」・「快適」・「環境」の3つの視点から評価する。(表2.2参照)。

表2.2 3つの視点と施設重要度

視点	舗装劣化の影響	施設重要度
安全	<ul style="list-style-type: none">路面の凹凸による転倒事故ハンドル操作性の悪化	通行車両や歩行者の安全の確保 ➤ 自動車や歩行者の通行量が多い路線
快適	<ul style="list-style-type: none">乗り心地の悪化通行速度の低下による交通渋滞	円滑な自動車交通や快適な乗り心地の維持 ➤ 自動車交通量が多い路線
環境	<ul style="list-style-type: none">振動の発生騒音の発生景観の悪化	沿道の静穏な環境の確保 ➤ 静穏な環境が求められる沿道施設周辺

施設重要度を評価するための指標を表2.3に示す。

なお、評価指標の設定は、データ取得の容易性に留意する。

表2.3 施設重要度の評価指標一覧

施設重要度	評価指標	備考
[安全] 自動車や歩行者の通行量が多い路線	人口密度	
[快適] 自動車交通量が多い路線	接続道路	国道、県道
	路線種別	バス路線
[環境] 静穏な環境が求められる沿道施設周辺	教育施設	小学校、中学校、高等学校
	福祉施設	老人福祉施設、有料老人ホーム、児童福祉施設、知的障害者援護施設、保育園
	その他の公共施設	図書館、町役場、地域振興局、警察署、消防署、郵便局
	公園	

※住民からの苦情・要望については、別途考慮する。

優先順位の判定は舗装劣化度を最優先して判定し、舗装劣化度が同じ場合は施設重要度を判定する。優先順位を数値的に判断するため、舗装劣化度及び施設重要度のそれぞれに評価点を設定する。

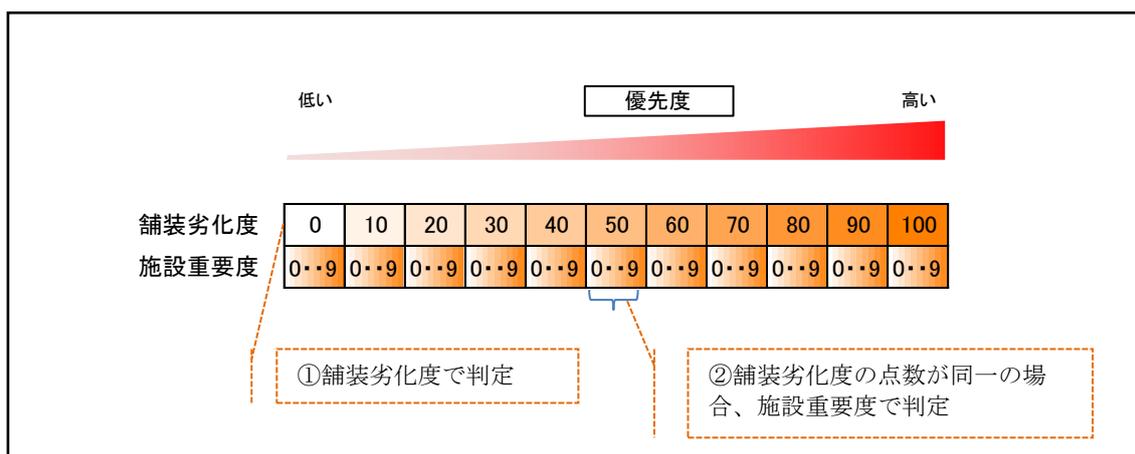


図2.1 優先順位の判定イメージ

舗装劣化度に対する評価点、分類、施設重要度に対する評価点を表 2.4 から表 2.6 に示す。

表 2.4 舗装劣化度に対する評価点

区分	評価点
ひび割れ率 \geq 40%	50 点
ひび割れ率 \geq 20%	20 点
わだち掘れ量 \geq 40mm	50 点
わだち掘れ量 \geq 30mm	20 点

※表の区分は要修繕区間、修繕候補区間のひび割れ率、及びわだち掘れ量を設定する。

表 2.5 舗装劣化度による分類

わだち掘れ量 \ ひび割れ率	40%以上	20%~40%	20%未満
40mm 以上	100 点	70 点	50 点
30mm~40mm	70 点	40 点	20 点
30mm 未満	50 点	20 点	0 点

※セルの塗色は要修繕区間等を示す。（■：要修繕区間、■：修繕候補区間）

表 2.6 施設重要度に対する評価点

施設重要度	評価指標	判定方法	評価点
[安全] 自動車や歩行者の通行量が多い路線	人口密度	100 人/k m ² 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100~200 人/k m²・・・1 点 ・ 200~300 人/k m²・・・2 点 ・ 300 人/k m²以上・・・3 点
[快適] 自動車交通量が多い路線	接続道路（国道、県道）	該当する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続道路に該当・・・1 点 ・ バス路線に該当 1 路線に該当・・・1 点 2 路線以上に該当・・・2 点 ・ 最大 3 点
	路線種別（バス路線）	該当する	
[環境] 静穏な環境が求められる沿道施設周辺	教育施設	各施設から 500m 圏内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設に該当 1~2 施設に該当・・・1 点 3~4 施設に該当・・・2 点 5 施設以上に該当・・・3 点 ・ 最大 3 点
	福祉施設		
	その他の公共施設		
	公園		

※住民からの苦情・要望については、別途考慮する。

各評価指標における一覧と位置図を以下に示す。なお、位置図については、拡大図を資料編に掲載する。

1) 人口密度

安全を視点とした評価指標における人口密度の高い地区は以下のとおりである。

表 2.7 山都町内の人口密度の高い地区一覧

小地域	人口	世帯	人口密度
大字千滝	381	161	587.49
大字城原	144	60	424.40
大字上寺	677	247	281.43
大字城平	445	195	159.31
大字須原	190	61	145.66
大字畑	248	99	141.48
大字馬見原	552	231	139.94
大字長原	131	54	133.36
大字南田	238	82	114.65
大字塩原	45	16	104.75
大字菅尾	229	83	102.52
大字勢井	49	11	102.52

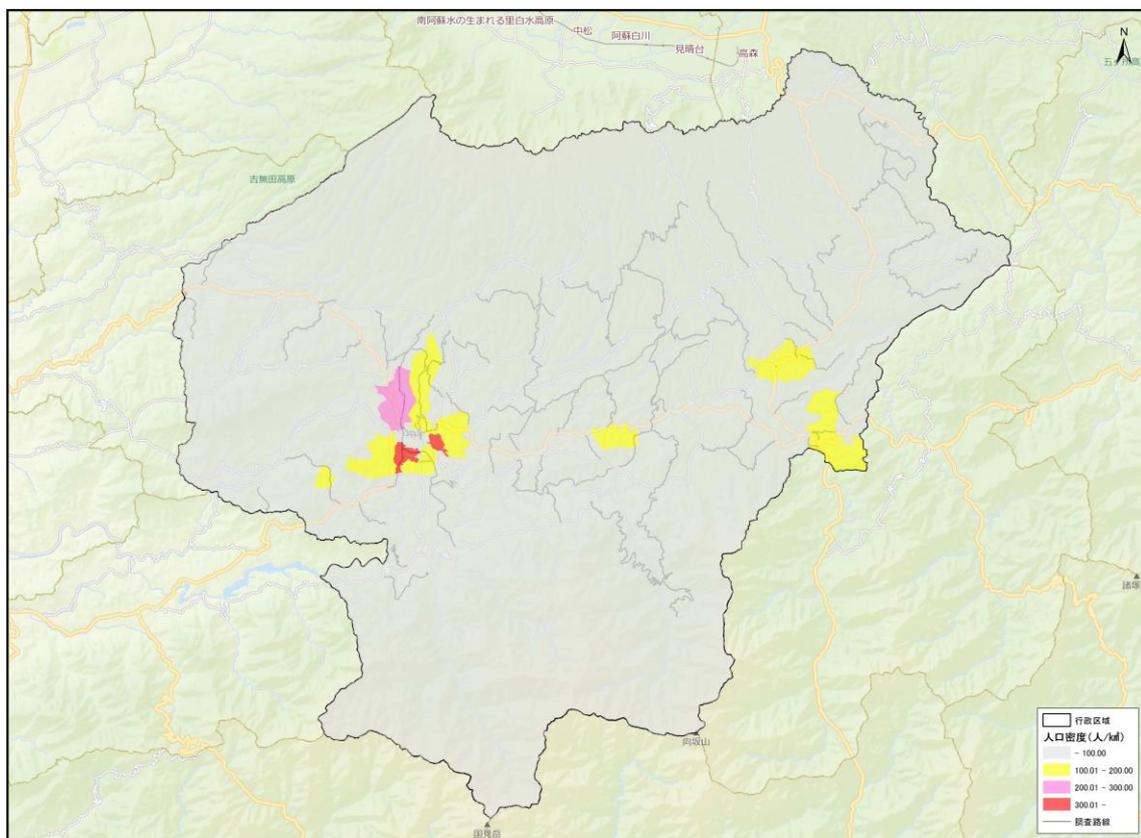


図 2.2 山都町の人口密度の高い地区

資料：国勢調査（2010）

2) 接続道路

快適を視点とした評価指標における接続道路の候補は以下のとおりである。

表 2.8 山都町内の国県道路線一覧

No	路線番号	路線名
1	国道 218 号線	
2	国道 265 号線	
3	国道 325 号線	
4	国道 445 号線	
5	県道 39 号線	矢部阿蘇公園線
6	県道 57 号線	益城矢部線

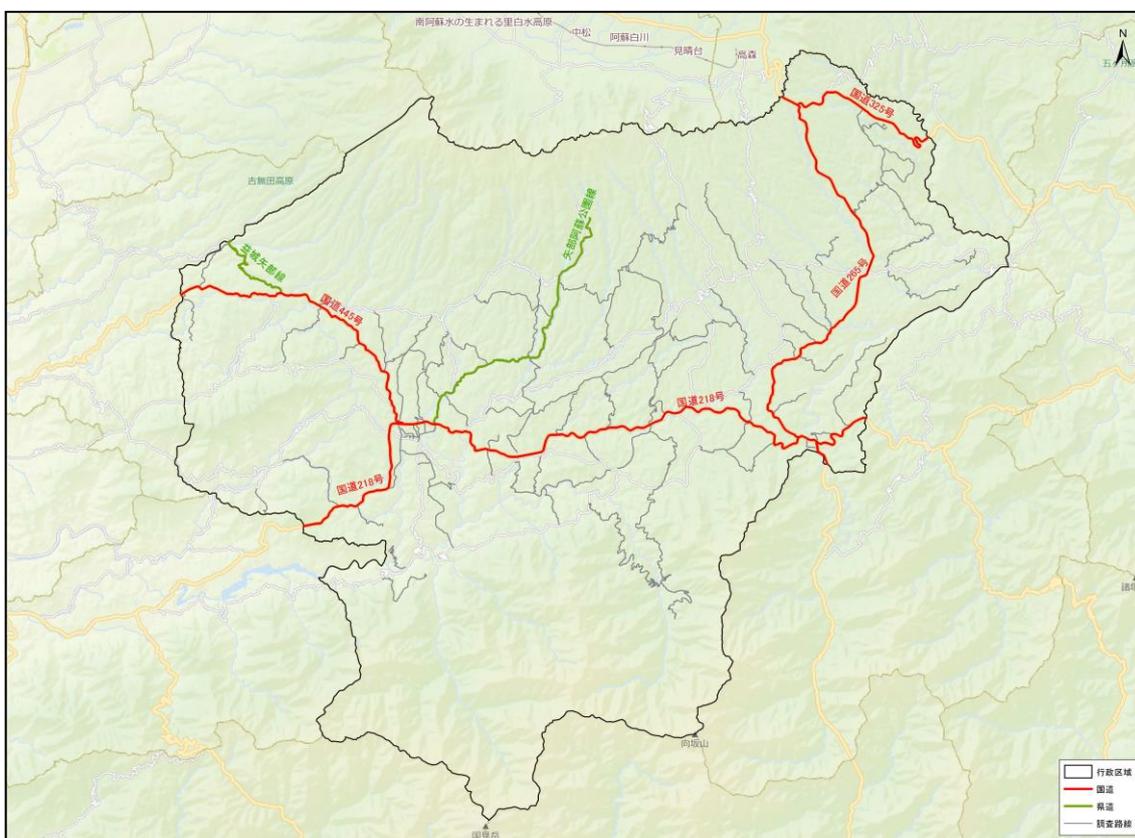


図 2.3 山都町の国県道位置図

資料：国土数値情報（1995）

3) 道路種別 (バス路線)

快適を視点とした評価指標におけるバス路線の候補は以下のとおりである。

表 2.9 山都町内のバス路線一覧

No.	事業者名	系統	経路
1	熊本バス (株)	南 14	交通センター～浜町 (矢部) ～通潤山荘
2	熊本バス (株)	南 14	浜町 (矢部) ～馬見原
3	熊本バス (株)	南 21	交通センター～甲佐～鶴越～浜町 (矢部)
4	西日本鉄道 (株)	福岡⇄延岡	博多バスターミナル～山都町～延岡駅前バスター
5	宮崎交通 (株)	福岡⇄延岡	博多バスターミナル～山都町～延岡駅前バスター
6	宮崎交通 (株)	熊本⇄延岡	熊本駅前～馬見原中鶴～延岡駅前バスター
7	九州産交バス (株)	熊本⇄延岡	熊本駅前～馬見原中鶴～延岡駅前バスター
8	山都ふれあいバス	葛原線	吐合～勢井～浜町～矢部高グラウンド
9	山都ふれあいバス	瀬峰線	上柚木～瀬峰～北川内～浜町～矢部高グラウンド
10	山都ふれあいバス	目丸線	小迫黒谷～津留～白石入口～浜町～矢部高グラウンド
11	山都ふれあいバス	上菅線	上菅上～白石入口～千寿苑～浜町～矢部高グラウンド
12	山都ふれあいバス	田所線	日暮崎～田所～田吉～浜町～矢部高グラウンド
13	山都ふれあいバス	日名田線	元仁田尾～日名田～後谷～浜町
14	山都ふれあいバス	御所線	下鶴～稲生野～小川～潤徳小～浜町
15	山都ふれあいバス	下名連石線	川島～潤徳小～浜町
16	山都ふれあいバス	白木谷線	白木谷～中島小～大石尾～浜町～矢部高グラウンド
17	山都ふれあいバス	小柏原線	小柏原～中島小～陣野下～浜町～矢部高グラウンド
18	山都ふれあいバス	福良線	福良～下鶴～田小野～浜町～矢部高グラウンド
19	山都ふれあいバス	大川～浜町線	A コーブ 清和～川内～浜町
20	山都ふれあいバス	郷野原線	郷野原～井無田轟木～高月枝村～A コーブ 清和
21	山都ふれあいバス	川口線	花高原～古野原～鶴底～川口～A コーブ 清和
22	山都ふれあいバス	木原谷線	川の口入口～小中竹～尾野尻～仮屋～A コーブ 清和
23	山都ふれあいバス	緑川線	栗藤～緑川滝下～小峰～交鶴～A コーブ 清和
24	山都ふれあいバス	大川～馬見原線	A コーブ 清和～仏原～大野～馬見原
25	山都ふれあいバス	馬見原・高森線	馬見原～蘇陽支所～旅草～高森駅
26	山都ふれあいバス	柳線	柳谷～旅草～蘇陽支所～馬見原
27	山都ふれあいバス	野原線	竹原～野原～赤立～古米～蘇陽支所
28	山都ふれあいバス	大見口線	倉木山～玉目～大見口公民館～塩出～蘇陽支所～馬見原
29	山都ふれあいバス	滝下線	花上滝下～米山滝下～蘇陽支所
30	山都ふれあいバス	土戸線	八矢～蘇陽支所～米山～菅尾～土戸～馬見原
31	山都ふれあいバス	下山線	下山～椀山～元橋～蘇陽支所～馬見原
32	山都ふれあいバス	花上線	坂の上～元柏～蘇陽支所
33	山都ふれあいバス	大野線	斗塩～文字ヶ崎～神の前～大野～馬見原
34	山都ふれあいバス	長崎線	下長崎～加勢群～道の上～馬見原～そよう病院
35	山都ふれあいバス	葛原線 (通学時)	吐合～勢井～矢部小～矢部中
36	山都ふれあいバス	瀬峰線 (通学時)	上柚木～瀬峰～北川内～矢部小～矢部中
37	山都ふれあいバス	目丸線 (通学時)	小迫黒谷～内大臣橋～荒谷～牧野～矢部小～矢部中
38	山都ふれあいバス	上菅線 (通学時)	上菅上～白石入口～矢部小～矢部中
39	山都ふれあいバス	田所線 (通学時)	横野～田所～田吉～矢部小～矢部中
40	山都ふれあいバス	御所線 (通学時)	竹の迫～下鶴～稲生野～小川～潤徳小～矢部中～浜町
41	山都ふれあいバス	下名連石線 (通学時)	川島～潤徳小～矢部中～浜町
42	山都ふれあいバス	原線 (通学時)	原～田小野～中島小 ※スクールバス専用
43	山都ふれあいバス	白木谷線 (通学時)	白木谷～布勢～中島小
44	山都ふれあいバス	小柏原線 (通学時)	木鷲野～中島小～陣野下～浜町～矢部中
45	山都ふれあいバス	福良線 (通学時)	大星～福良～下鶴～中島小～田小野～浜町～矢部中
46	山都ふれあいバス	大川～浜町線 (通学時)	A コーブ 清和～川内～矢部中～浜町
47	山都ふれあいバス	郷野原線 (通学時)	長成～井無田轟木～安方～清和小～A コーブ 清和
48	山都ふれあいバス	鶴底線 (通学時)	鬼ヶ城～原尾野～日名田～A コーブ 清和～清和小
49	山都ふれあいバス	川口線 (通学時)	鶴底～井無田診療所～高月枝村～A コーブ 清和～清和小
50	山都ふれあいバス	木原谷線 (通学時)	檜原～小中竹～交鶴～A コーブ 清和～清和小
51	山都ふれあいバス	緑川線 (通学時)	湯鶴葉～尾野尻～仮屋～清和小～A コーブ 清和
52	山都ふれあいバス	馬見原・高森線 (通学時)	栗山～道の上～馬見原～蘇陽支所～旅草～高森駅
53	山都ふれあいバス	野原線 (通学時)	高畑～竹原～旅草～蘇陽支所～馬見原

No.	事業者名	系統	経路
54	山都ふれあいバス	大見口線(通学時)	宇谷～大見口三叉路～玉目～倉木山～蘇陽小～蘇陽支所
55	山都ふれあいバス	上差尾線(通学時)	下塩出～上差尾～二津留～蘇陽小～蘇陽支所
56	山都ふれあいバス	土戸線(通学時)	土戸～米山～神ノ木～蘇陽支所
57	山都ふれあいバス	下山線(通学時)	下山～枕山入口～蘇陽小～蘇陽支所
58	山都ふれあいバス	花上線(通学時)	坂の上～元柏～蘇陽小～蘇陽支所
59	山都ふれあいバス	大野線(通学時)	大野～神の前～文字ヶ崎～斗塩～蘇陽支所
60	山都ふれあいバス	菅尾線(通学時)	今団地入口～神ノ木～上塩出～馬見原 ※スクールバス専用
61	山都ふれあいバス	神ノ前線(通学時)	方ヶ野～神の前～大野～馬見原 ※スクールバス専用
62	山都ふれあいバス	布田線(通学時)	布田下～大野～杉木～原入口～矢部小 ※スクールバス専用

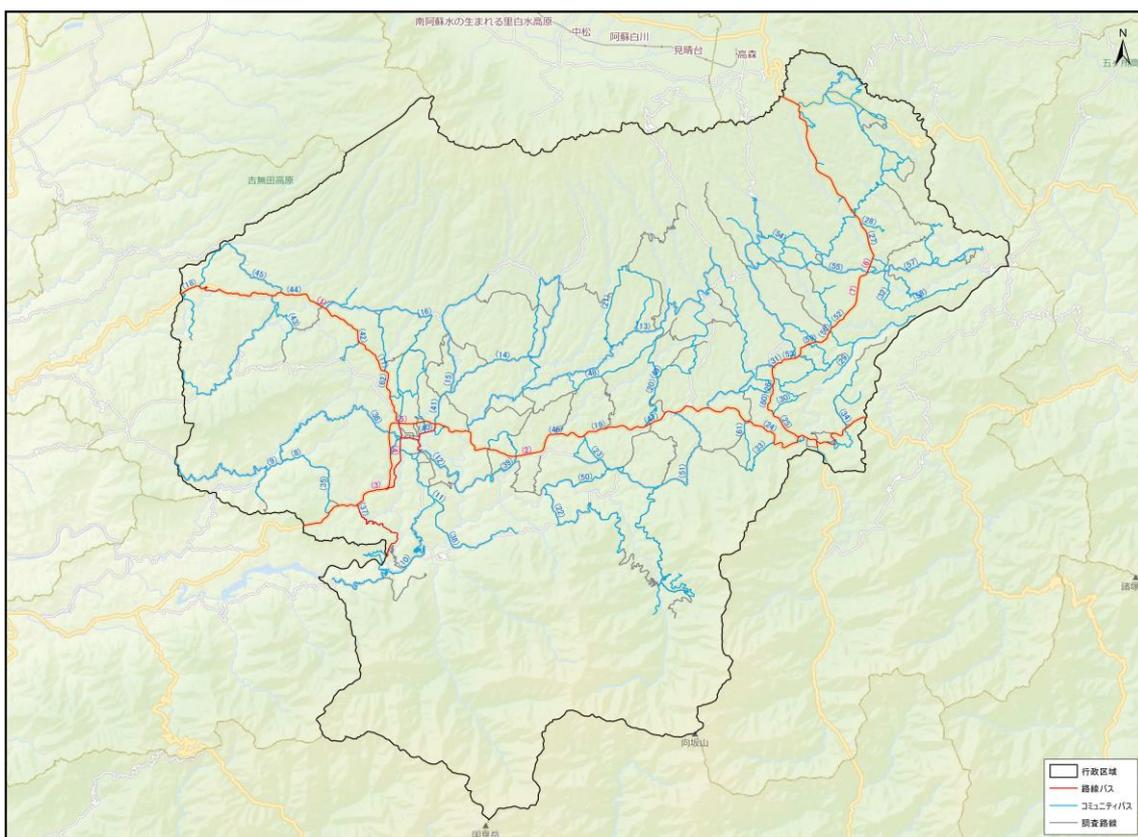


図 2.4 山都町内のバス路線位置図

資料：熊本バス（2015）、山都町ふれあいバス（2016）

4) 教育施設

環境を視点とした評価指標における教育施設の候補は以下のとおりである。

表 2.10 山都町内の教育施設一覧

No.	学校分類	施設名	所在地	管理者区分
1	小学校	御岳小学校	川野 1543	山都町
2	小学校	潤徳小学校	入佐 264	山都町
3	小学校	清和小学校	仮屋 384	山都町
4	小学校	蘇陽小学校	柏 981-3	山都町
5	小学校	中島小学校	北中島 2333-1	山都町
6	小学校	矢部小学校	下馬尾 17	山都町
7	小学校	蘇陽南小学校	馬見原 165	山都町
8	中学校	清和中学校	大平 410	山都町
9	中学校	蘇陽中学校	今 450-1	山都町
10	中学校	矢部中学校	城平 527	山都町
11	高等学校	矢部高等学校	城平 954	熊本県
12	高等学校	一ツ葉高等学校	目丸 2472	民間

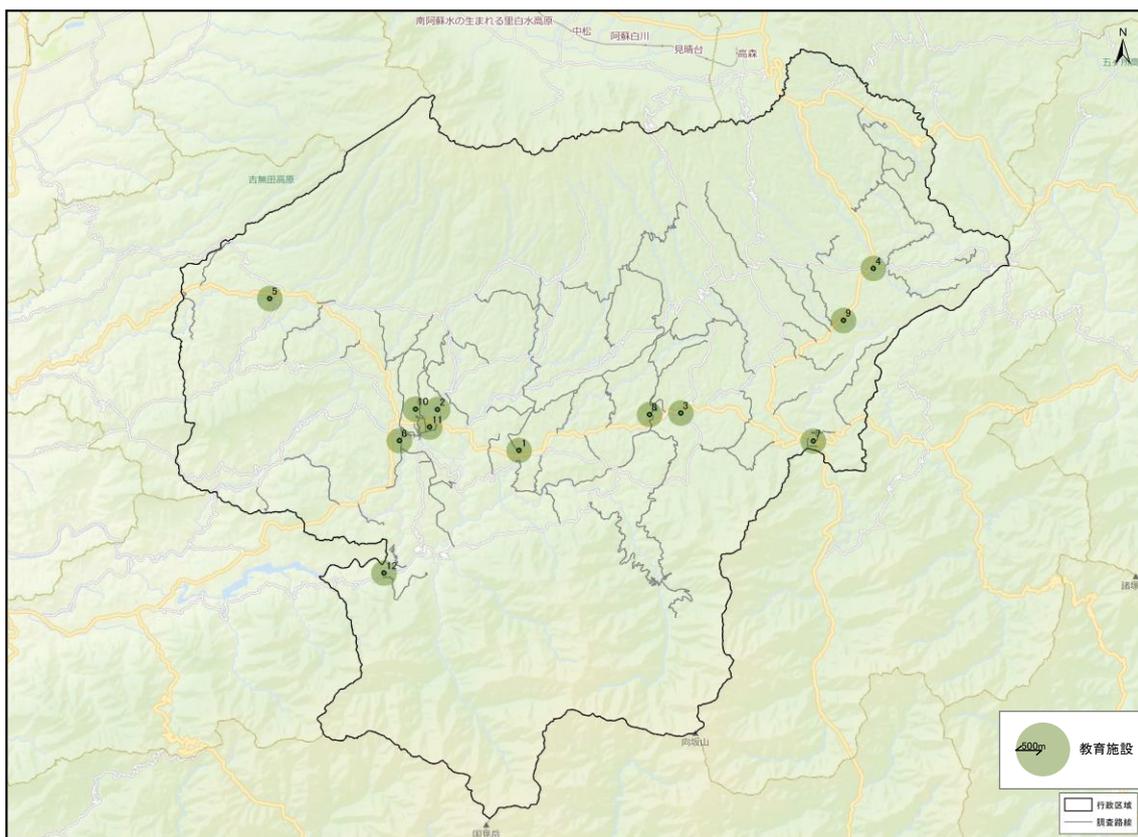


図 2.5 山都町内の教育施設位置図

資料：国土数値情報（2013）

5) 福祉施設

環境を視点とした評価指標における福祉施設の候補は以下のとおりである。

表 2.1 1 山都町内の福祉施設一覧

No.	施設分類	施設名称	所在
1	養護老人ホーム	浜美荘	上寺 2178-5
2	老人福祉センター	山都町柏老人福祉センター	柏 967
3	老人福祉センター	山都町菅尾老人福祉センター	菅尾 144
4	訪問介護・介護予防訪問介護	訪問介護サービス事業所 りんどう	北中島 2679
5	訪問介護・介護予防訪問介護	訪問介護事業所 ほほえみ	南田 221-1
6	訪問介護・介護予防訪問介護	JA 上益城訪問介護事業所 たんぼぼ	浜町 184
7	訪問介護・介護予防訪問介護	第一タクシー(株)ケアサービス事業部	浜町 252-2
8	訪問介護・介護予防訪問介護	訪問介護ステーション やまと	城平 874
9	訪問介護・介護予防訪問介護	ケアセンター やまと	大平 91
10	訪問介護・介護予防訪問介護	ヘルパーステーション きらら	馬見原 794-8
11	訪問介護・介護予防訪問介護	ヘルパーステーション すまいる	今 322-1
12	訪問入浴介護	矢部大矢荘訪問入浴介護事業所	北中島 2684-2
13	訪問看護	蘇陽病院訪問看護ステーション	滝上 526
14	訪問看護	訪問看護ステーション山都	北中島 505-5
15	訪問リハビリテーション	彩雲苑訪問リハビリテーション	北中島 2701
16	通所介護 (デイサービス)	矢部大矢荘通所介護事業所 復健館	北中島 2684-2
17	通所介護 (デイサービス)	大地	下馬尾 299-1
18	通所介護 (デイサービス)	風ノ木デイサービス	千滝 211
19	通所介護 (デイサービス)	デイサービス やすなが	浜町 259-20
20	通所介護 (デイサービス)	デイサービス やまと	大平 91
21	通所介護 (デイサービス)	デイサービスセンター そよ風の里ほたる	今 322-1
22	通所介護 (デイサービス)	ケアセンター そよかぜ	今 500
23	通所介護 (デイサービス)	デイサービスセンター 蘇望苑	滝上 223-1
24	通所介護 (デイサービス)	デイサービス けあふる	馬見原 794-8
25	通所介護 (デイサービス)	もやい	野尻 1026-4
26	通所リハビリテーション (デイケア)	彩雲苑通所リハビリテーション	北中島 2701
27	通所リハビリテーション (デイケア)	瀬戸病院通所リハビリテーション	北中島 2806
28	通所リハビリテーション (デイケア)	老人保健施設 ライフライト矢部	下市 60
29	短期入所生活介護 (ショートステイ)	矢部大矢荘短期入所生活介護事業所	北中島 2684-2
30	短期入所生活介護 (ショートステイ)	短期入所生活介護 風ノ木	千滝 211
31	短期入所生活介護 (ショートステイ)	特別養護老人ホーム 蘇望苑	滝上 223-1
32	短期入所生活介護 (ショートステイ)	短期入所生活介護事業所 そよ風の里ほたる	今 322-1
33	短期入所療養介護 (ショートステイ)	介護老人保健施設 彩雲苑	北中島 2701
34	短期入所療養介護 (ショートステイ)	老人保健施設 ライフライト矢部	下市 60
35	短期入所療養介護 (ショートステイ)	介護療養型医療施設 伴病院	浜町 167
36	居宅介護支援事業所	矢部大矢荘居宅介護支援事業所	北中島 2684-2
37	居宅介護支援事業所	彩雲苑居宅介護支援事業所	北中島 2701
38	居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 ライフライト矢部	下市 60
39	居宅介護支援事業所	JA 上益城居宅介護支援事業所	浜町 184
40	居宅介護支援事業所	風ノ木居宅介護支援事業所	千滝 211
41	居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所さくら	北中島 505-5
42	居宅介護支援事業所	ケアセンター やまと	大平 91
43	居宅介護支援事業所	蘇望苑居宅介護支援事業所	滝上 223-1
44	居宅介護支援事業所	居宅介護事業所 そよ風の里ほたる	今 322-1
45	介護予防支援事業所	山都町地域包括支援センター	浜町 6
46	認知症対応型共同生活介護	グループホーム すみれ	北中島 2679-3
47	認知症対応型共同生活介護	グループホーム ひまわり	下市 59
48	認知症対応型共同生活介護	やまびこ	下馬尾 288
49	認知症対応型共同生活介護	グループホーム 緑仙館	仏原 9-11
50	認知症対応型共同生活介護	グループホーム あいらく	滝上 223-1
51	小規模多機能型居宅介護	地域密着介護 こころ	北中島 1717
52	小規模多機能型居宅介護	さくら荘	野尻 1026-1
53	地域密着型介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 風ノ木	千滝 211

No.	施設分類	施設名称	所在
54	地域密着型介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム そよ風の里ほたる	今 322-1
55	地域密着型介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 蘇望苑 ユニット	滝上 223-1
56	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	特別養護老人ホーム 矢部大矢荘	北中島 2684-2
57	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	特別養護老人ホーム 蘇望苑	滝上 223-1
58	介護老人保健施設	介護老人保健施設 彩雲苑	北中島 2701
59	介護老人保健施設	老人保健施設 ライフライト矢部	下市 60
60	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設 瀬戸病院	北中島 2806
61	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設 伴病院	浜町 167
62	有料老人ホーム	有料老人ホーム たんぼぼ	下馬尾 299-1
63	有料老人ホーム	有料老人ホーム 優心苑	南田 221-7
64	有料老人ホーム	有料老人ホーム やまと荘	城平 873
65	有料老人ホーム	有料老人ホーム そよ風一番館	今 322-1
66	サービス付き高齢者住宅	はあとふる	馬見原 791-4
67	軽費老人ホーム	ケアハウス 光露館	北中島 2710-3
68	短期入所事業所、障がい者支援施設、共同生活援助事業所	障害者支援施設明星学園	神ノ前 242-15
69	児童館	山都町中尾児童館	城平 20-1
70	自立訓練、就労移行支援事業所、就労継続支援（A型）	ライフトレーニングさんぼうか	下名連石 582
71	自立訓練、就労移行支援事業所	明星学園多機能型事業所のぞみ	小峰 1385
72	就労継続支援（B型）	就労継続支援センター井無田	井無田 1124-5
73	就労継続支援（B型）	上益城きぼうの家	下馬尾 298-4
74	地域活動支援センター	障がい者共同作業所スクランブル	二瀬本 60
75	保育所	さくらんぼ愛園	長田 393
76	保育所	御岳保育園	男成 1472-1
77	保育所	浜町乳児保育園	上寺 1993-1
78	保育所	明光保育園	白小野 1300
79	保育所	金内保育園	金内 152-2
80	保育所	菅尾保育園	菅尾 1237-1
81	保育所	大川保育園	大平 100
82	保育所	二瀬本保育園	柏 962-1
83	保育所	馬見原保育園	馬見原 172
84	保育所	山都みらい保育園	城原 162-7
85	保育所	小峰へき地保育所	小峰 765

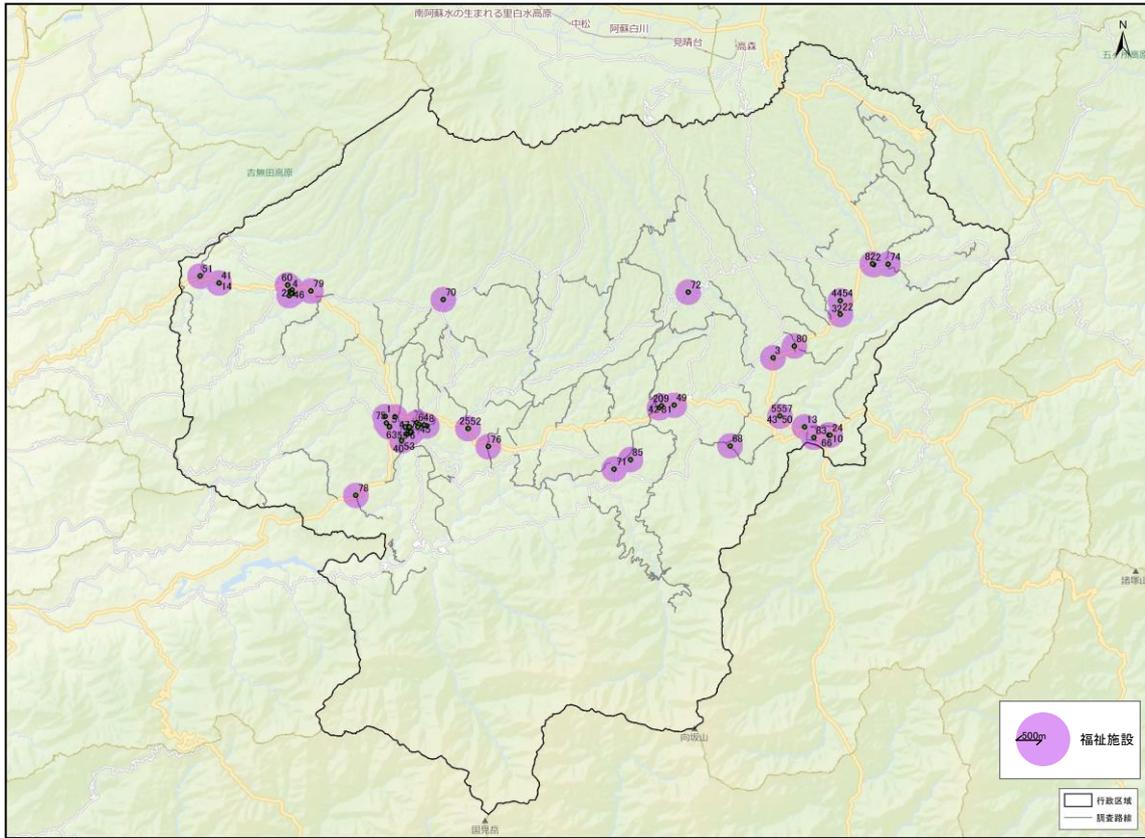


図 2.6 山都町内の福祉施設位置図

資料：山都町介護保険サービス事業者一覧（2017）

6) その他の公共施設

環境を視点とした評価指標におけるその他の公共施設の候補は以下のとおりである。

表 2.1 2 評価指標における公共施設の候補一覧

No.	施設分類	施設名称	所在地
1	図書館	山都町立図書館	城原 169-1
2	図書館	山都町立図書館清和分館	大平 306-1
3	図書館	山都町立図書館蘇陽分館	馬見原 218
4	地域振興局	熊本県上益城地域振興局土木部	下馬尾 265
5	町役場	山都町役場	下馬尾 286-4
6	町役場	山都町役場清和支所	大平 385
7	町役場	山都町役場蘇陽支所	今 500
8	警察署	山都警察署	下馬尾 414-5
9	警察署	山都警察署下名連石駐在所	下名連石 595-1
10	警察署	山都警察署清和駐在所	米生 132-6
11	警察署	山都警察署中島駐在所	北中島 2806-16
12	警察署	山都警察署馬見原駐在所	馬見原 128
13	警察署	山都警察署白小野駐在所	白小野 151-1
14	消防署	上益城消防組合山都消防署	畑 1026-1
15	消防署	上益城消防組合山都消防署蘇陽出張所	今 498-15
16	郵便局	井無田簡易郵便局	井無田 1152
17	郵便局	下矢部郵便局	猿渡 4800-1
18	郵便局	浜町郵便局	下市 56-5
19	郵便局	名連川簡易郵便局	下名連石 468-1
20	郵便局	金内郵便局	金内 1220-1-2
21	郵便局	菅尾簡易郵便局	菅尾 1254-4
22	郵便局	御岳郵便局	川野 2250
23	郵便局	清和郵便局	大平 361
24	郵便局	白糸郵便局	津留 977-2
25	郵便局	島木簡易郵便局	島木 5469-5
26	郵便局	蘇陽郵便局	馬見原 61-11
27	郵便局	柏郵便局	柏 963-1
28	郵便局	白小野簡易郵便局	白小野 147-3
29	郵便局	中島簡易郵便局	北中島 1343-1
30	郵便局	清和緑川簡易郵便局	緑川 1045

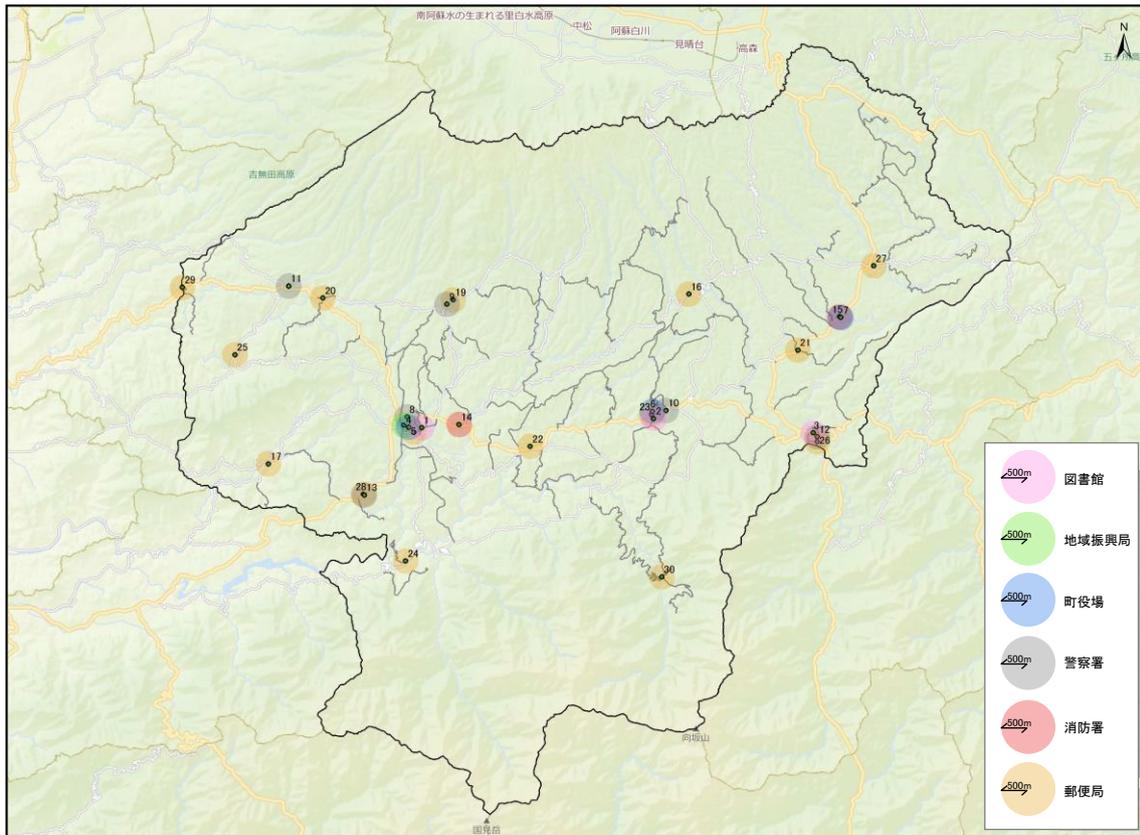


図 2.7 評価指標における公共施設の位置図

資料：国土数値情報

※図書館（2006）、警察署・消防署（2012）、
地域振興局・郵便局（2013）、役場（2014）

7) 公園

安全を視点とした評価指標における公園の候補は以下のとおりである。

表 2.1 3 山都町内の公園一覧

No.	公園名	所在
1	服掛松カントリーパーク	上益城郡山都町

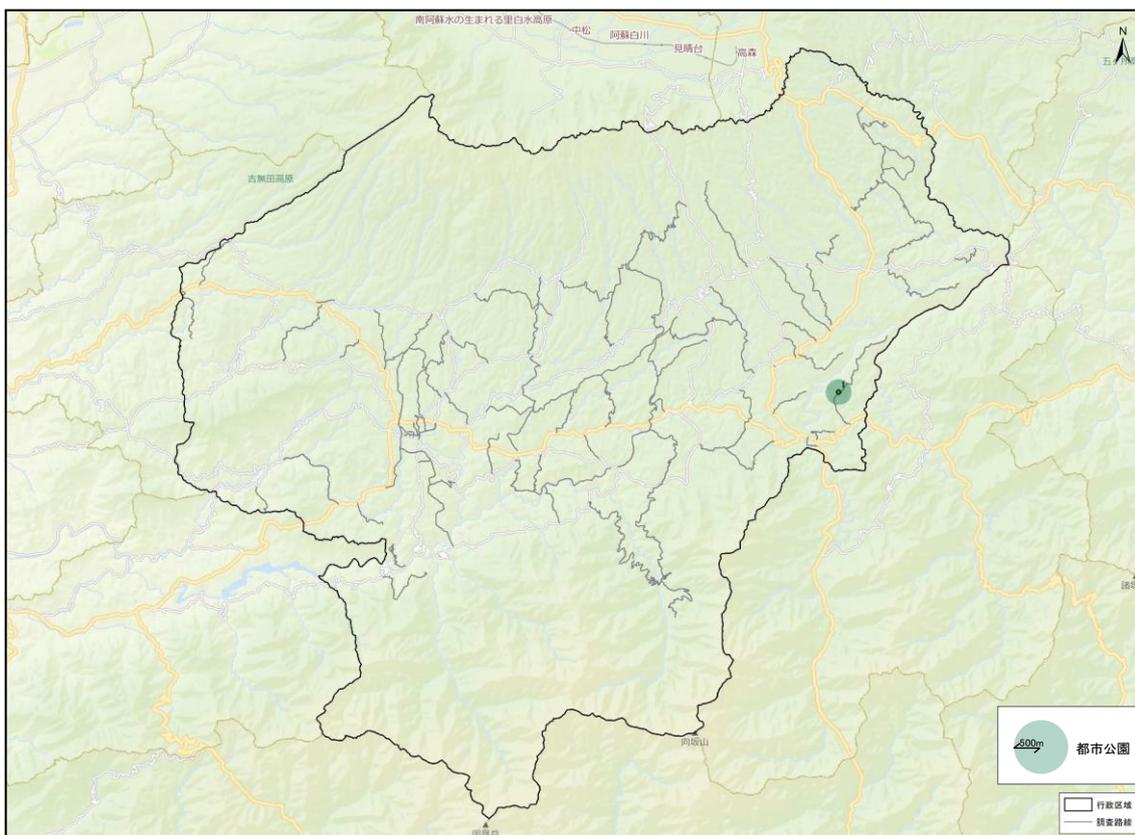


図 2.8 山都町内の公園位置図

資料：国土数値情報（2011）

各評価指標を全て重ねると図2.9のとおりである。評価指標をもとに各区間に評価点を付与すると図2.10のとおりである。

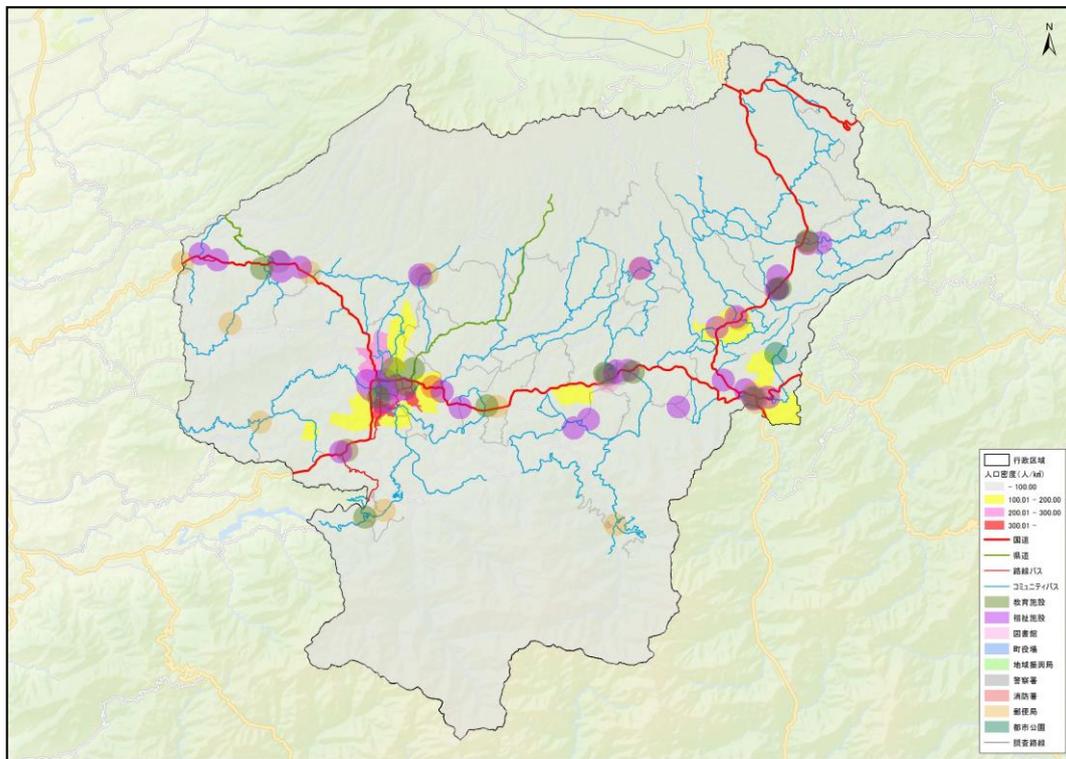


図2.9 評価指標位置図

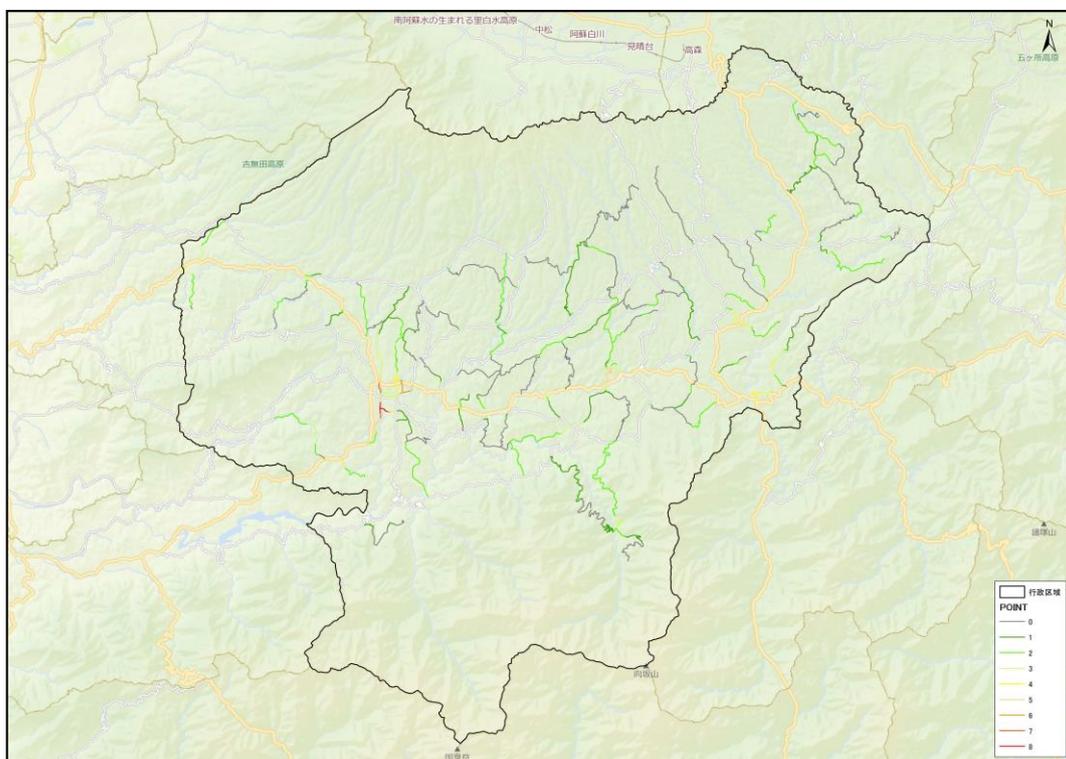


図2.10 評価点分布図

第3章 舗装修繕工法及び概算工事コストの検討

3-1 想定補修工法の決定

① 修繕工法の設定

修繕工法は「舗装の維持修繕ガイドブック 2013」（日本道路協会）を参考にして、修繕工法と舗装の劣化状況（ひび割れ率とわだち掘れ量）を設定した。設定において、わだち掘れについては破損の分類を構造的な変形であると仮定している。修繕工法の設定内容は表3.1に示すとおりである。

なお、実際に修繕する際は調査結果を踏まえて、破損の分類や程度を的確に評価したうえで、破損の原因を十分究明し、その原因を解消するような工法を選択する必要がある。

表3.1 修繕工法の設定

工法	舗装劣化の状況	一般的な路面の状況
オーバーレイ工法	ひび割れ率が15%以上、かつ、わだち掘れ量が20mm未満	ひび割れやわだち掘れ等の破損が表面に生じており、既設路面にくぼみ等が少なく、舗装面の嵩上げが可能な場合に行う。
切削オーバーレイ工法	ひび割れ率が35%以上、かつ、わだち掘れ量が20mm未満	ひび割れやわだち掘れ等の破損が表層又は表・基層に生じており、舗装面が嵩上げできない場合に行う。
部分打換え工法 (局部打換え工法)	ひび割れ率が20%未満、かつ、わだち掘れ量が20mm以上	ひび割れやわだち掘れ等の破損が版底面まで達した場合に、版あるいは路盤を含めて局部的（ひび割れをはさんで3m以上）に打換えを行う。
全層打換え工法	ひび割れ率が20%以上、かつ、わだち掘れ量が20mm以上	ひび割れやわだち掘れ等の破損が舗装全体に生じている場合は、アスコン層及び下層路盤の打換えを行う。

② 工法単価の設定

工法単価を設定するにあたり、積算条件を図3.1のとおり設定し、各修繕工法に対する単価を算出した。単価一覧を表3.2、単価の内訳を表3.3から表3.6に示す。

工 事 年 度	平成 28 年度
工 事 名	H29舗装補修
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	公共 平成28年度
工 種 区 分	道路維持工事
単 価 適 用 年 月 日	平成29年04月01日 公共
単 価 地 区	山都町(旧矢部町・旧清和村)
機 構 適 用 年 月 日	平成28年10月01日 公共
歩 掛 適 用 年 月 日	平成29年04月01日 公共 (平成28年度 復興歩掛)
備 考	

図 3.1 積算条件

表 3.2 修繕工法に対する単価一覧

工 法	単 価
オーバーレイ工法	4,152 円/m ²
切削オーバーレイ工法	5,963 円/m ²
部分打換え工法 (局部打換え工法)	6,005 円/m ²
全層打換え工法	10,731 円/m ²

表 3.3 工法単価の設定 (オーバーレイ工法)

費目	単価	備考
直接工事費 労務費 機械運転経費 諸雑費 材料費	1,626 円/m ²	表層(車道・路肩部)厚 35mm 以上 45mm 未満
共通仮設費	389 円/m ²	直接工事費の 23.94%
純工事費	2,015 円/m ²	
現場管理費	1,181 円/m ²	純工事費の 58.61%
工事原価	3,196 円/m ²	
一般管理費等	648 円/m ²	工事原価の 20.29%
工事価格	3,844 円/m ²	
消費税	308 円/m ²	工事価格の 8.00%
合計	4,152 円/m ²	

表 3.4 工法単価の設定 (切削オーバーレイ工法)

費目	単価	備考
直接工事費 労務費 機械運転経費 諸雑費 材料費	2,335 円/m ²	平均切削深 7cm 以下、即日 一層
共通仮設費	559 円/m ²	直接工事費の 23.94%
純工事費	2,894 円/m ²	
現場管理費	1,696 円/m ²	純工事費の 58.61%
工事原価	4,590 円/m ²	
一般管理費等	931 円/m ²	工事原価の 20.29%
工事価格	5,521 円/m ²	
消費税	442 円/m ²	工事価格の 8.00%
合計	5,963 円/m ²	

表 3.5 工法単価の設定（部分打換え工法）

費目	単価	備考
直接工事費 舗装版破碎 殻運搬 処分費 不陸整正 表層	2,351 円/m ²	舗装版破碎：アスファルト 舗装版 厚 10cm 以下、殻運搬：機械 厚 15cm 以下、不陸整正：1mm 以上 3mm 未満、表層：厚 35mm 以上 45mm 未満
諸経費対象外処分費	0 円/m ²	直接工事費に含まれる処分費：70.2 円/m ² 対象処分費：直接工事費の 3% = 70.53 円/m ²
共通仮設費	563 円/m ²	直接工事費（諸経費対象外処分費を除く）の 23.94%
純工事費	2,914 円/m ²	
現場管理費	1,708 円/m ²	純工事費（諸経費対象外処分費を除く）の 58.61%
工事原価	4,622 円/m ²	
一般管理費等	938 円/m ²	工事原価（諸経費対象外処分費を除く）の 20.29%
工事価格	5,560 円/m ²	
消費税	445 円/m ²	工事価格の 8.00%
合計	6,005 円/m ²	

表 3.6 工法単価の設定（全層打換え工法）

費目	単価	備考
直接工事費 掘削 土砂等運搬 舗装版破碎 殻運搬 処分費 下層路盤 上層路盤 表層	4,202 円/m ²	土砂等運搬、殻運搬：DID 区 間無し、舗装版破碎：アス ファルト舗装版 厚 10cm 以 下、殻運搬：機械 厚 15cm 以下、下層路盤：125mm 超 175mm 以下、上層路盤：75mm 超 125mm 以下、表層：厚 45mm 以上 55mm 未満
諸経費対象外処分費	0 円/m ²	直接工事費に含まれる処分 費：70.2 円/m ² 対象処分費：直接工事費の 3%=126 円/m ²
共通仮設費	1,006 円/m ²	直接工事費（諸経費対象外 処分費を除く）の 23.94%
純工事費	5,208 円/m ²	
現場管理費	3,052 円/m ²	純工事費（諸経費対象外処 分費を除く）の 58.61%
工事原価	8,260 円/m ²	
一般管理費等	1,676 円/m ²	工事原価（諸経費対象外処 分費を除く）の 20.29%
工事価格	9,936 円/m ²	
消費税	795 円/m ²	工事価格の 8.00%
合計	10,731 円/m ²	

3-2 概算工事コストの算出

概算工事コストは工法単価×面積として、工法単価はひび割れ率とわだち掘れ量から判定した修繕工法における単価、面積は平均幅員×区間長とした。概算工事コストの算出における整理項目、評価項目を表3.7に示す。

全区間における概算工事のコストの一覧は、舗装維持管理計画に示す。

表3.7 概算工事コストの算出における整理項目・算出項目

項目	項目内容
修繕区分	修繕対象の区間であり、要修繕区間、修繕候補区間の区分を示す。
区間長	計測結果を整理し、面積の算出に使用する。
平均幅員	道路台帳における各路線の平均幅員を整理し、面積の算出に使用する。
面積	区間長×平均幅員で計算し、修繕費用の算出に使用する。
ひび割れ率	ひび割れ率の損傷度を考慮し、修繕工法を選定する。
わだち掘れ量	わだち掘れ量の損傷度を考慮し、修繕工法を選定する。
修繕工法	ひび割れ率とわだち掘れ量から修繕工法を選定し、修繕に掛かる単価を採用する。
修繕費用	修繕工法の単価×面積で算出する。

各区間の概算工事コストを集計して、全区間の概算工事コストを算出した。概算工事コストを修繕区分別に整理すると表3.8のとおりである。

表3.8 修繕区分別の概算工事コスト

修繕区分	概算工事コスト (円)
要修繕区間 【A】	4,564,633,124
修繕候補区間 【B】	7,375,570,013
合計 【A+B】	11,940,203,137

要修繕区間と修繕候補区間（5年後までに修繕が必要と仮定される区間）を合わせて5年間で按分すると、1年間当たりの修繕費用の目安となる金額が算出される。しかし、全ての対象箇所を一度に修繕することは現実的ではないことから、優先順位を評価して計画的に修繕を実施していく必要がある。

3-3 路線毎の概算工事コストの算出

各区間の概算工事コストを路線毎に集計し、路線毎の延長、修繕区分別延長、修繕対象区間の概算工事コストを算出した。算出結果を表3.9に示す。

表3.9 路線毎の各延長と修繕区分毎の概算工事コスト

路線名	路線延長 (m)	要修繕区 延長 (m)	修繕候補区 延長 (m)	概算工事 コスト (千円)
001 小笹井無田線	9,886.10	3,097	5,970	634,881
002 下市畑線	1,100.00	550	550	97,891
003 牧野上司尾線	3,044.70	480	2,558	242,658
004 千滝鮎の瀬線	5,746.00	1,120	4,384	405,422
005 藤木猿渡線	3,888.60	1,051	2,200	174,931
006 白小野鶴越線	4,021.50	300	1,002	71,280
007 横町新町線	456.70	0	456	18,111
009 米生滝下線	11,054.60	8,560	2,138	774,882
011 米生栃原線	2,523.00	0	2,523	311,440
012 今八木線	3,123.00	0	0	0
013 長谷埋立線	6,091.50	600	3,600	278,084
014 新町線	721.00	0	0	0
015 金内中央線	706.70	0	317	10,470
016 文字ヶ崎安方線	1,660.00	0	1,660	120,911
017 大久保下塩出線	1,042.10	0	0	0
018 大川大矢線	8,461.60	1,904	6,720	768,796
019 文字ヶ崎神の前線	1,544.30	0	1,184	51,553
020 城平新町線	511.80	0	0	0
101 稲生野牛が瀬線	6,224.90	3,080	3,123	408,062
102 上川井野日名田線	3,312.60	1,200	1,254	155,168
103 横野木原谷線	5,094.10	300	4,794	366,319
104 成君小峰線	5,808.60	300	5,508	286,992
105 仮屋神ノ前線	4,607.80	4,255	200	141,496
106 川内小川線	5,444.00	2,290	3,154	285,198
107 杉木田小野線	2,691.70	0	2,321	75,926
108 上寺造別当線	5,049.10	2,580	2,469	313,240
109 冷水後迫線	4,385.60	1,690	2,695	320,707
110 浜町下名連石線	6,275.90	1,525	4,750	311,685
111 新小譲原線	1,659.00	805	820	102,883
112 瀬戸福良線	5,785.90	220	2,300	151,436
113 長谷下鶴線	2,354.60	200	2,154	175,143
114 金地大多良線	3,686.60	1,200	2,316	128,035
115 津留線	2,900.20	0	0	0
116 金内白木谷線	3,591.00	1,100	2,500	234,447

路線名	路線延長 (m)	要修繕区間 延長 (m)	修繕候補区間 延長 (m)	概算工事 コスト (千円)
117 柚木砥用線	1,559.40	0	0	0
118 黒川下名連石線	2,298.10	296	2,000	95,011
119 浦川線	378.70	0	263	7,581
120 昭午町上寺線	802.60	206	596	43,336
121 下大川線	588.60	320	259	61,511
122 田所稻生原線	2,519.00	0	1,889	83,117
123 西谷線	3,452.20	2,100	1,352	170,938
124 陣之尾線	1,308.00	1,050	205	57,910
125 杉木入佐線	4,293.20	2,350	1,943	310,518
126 入佐小笹線	1,793.30	400	1,371	110,227
127 長野小原線	479.60	0	479	19,009
128 小峰河鶴線	1,129.00	100	1,029	167,932
129 西緑川線	11,155.30	4,760	6,255	717,019
130 安方組崎線	4,839.70	2,400	1,700	281,581
131 長成小幡線	3,929.10	2,570	1,359	275,965
132 大矢貸上線	8,474.60	4,550	3,924	588,145
133 大川井無田線	2,610.30	2,020	590	199,923
134 平野法連寺線	3,501.60	600	2,901	189,402
135 滝下赤木舞岳線	5,137.30	1,700	2,397	250,600
136 今馬見原線	9,670.00	3,500	1,662	236,510
137 二瀬本高辻線	6,700.50	450	4,884	193,490
138 大久保米山線	2,407.00	0	0	0
139 土戸線	1,628.90	0	312	8,129
141 長谷花立線	4,036.80	600	1,054	61,215
142 野原竹原線	1,892.20	0	1,300	43,351
143 二瀬本花上線	4,282.00	4,120	100	142,650
144 今二津留線	4,130.00	0	100	3,197
145 菅尾河内谷線	52.00	0	0	0
146 上差尾線	4,167.50	100	2,200	66,613
147 高畑線	3,534.30	0	300	8,221
148 下塩出大迫線	1,744.80	0	658	20,392
149 大川辛木川線	1,887.00	1,130	757	149,872
150 古園一里木線	1,440.40	680	760	87,582
151 椎屋栴山線	1,694.20	0	100	2,284

第4章 舗装整備優先順位の検討

各区分における舗装整備の優先順位を評価するため、舗装劣化度、施設重要度、住民要望を整理した。舗装劣化度はひび割れ率、わだち掘れ量から評価した。舗装劣化度の評価における整理項目、評価項目を表4.1に示す。

表4.1 舗装劣化度の評価における整理項目・評価項目

分類	項目	項目内容
計測値	ひび割れ率	計測結果を整理し、舗装劣化度の評価に使用する。
	わだち掘れ量	計測結果を整理し、舗装劣化度の評価に使用する。
舗装劣化度	ひび割れ率	ひび割れ率から判定し、ひび割れ率に対する舗装劣化度の点数を示す。
	わだち掘れ量	わだち掘れ量から判定し、わだち掘れ量に対する舗装劣化度の点数を示す。
	小計	舗装劣化度（ひび割れ率）と舗装劣化度（わだち掘れ量）を合計した値で、舗装劣化度の点数を示す。

施設重要度は安全、快適、環境の視点における点数を判定し、各点数を合計した。安全の視点における点数は人口密度が高い地区に該当するかを判定した。快適の視点における点数は接続道路、路線種別に該当するかを判定し、判定結果を合計した。環境の視点における点数は500m以内にある教育施設、福祉施設、その他の公共施設、公園の数に応じて点数化し、総合判定した。各項目を整理すると表4.2に示すとおりである。

表4.2 施設重要度の評価における項目

分類	項目	項目内容
施設重要度 [安全]	人口密度	人口密度が高い地区に該当するかの判定を示す。
施設重要度 [快適]	接続道路	国道、県道の接続道路に該当するかの判定を示す。
	路線種別	バス路線に該当するか判定し、路線数に応じた点数を示す。
	小計	接続道路、路線種別に関する判定の結果を合計し、快適の視点における点数を示す。
施設重要度 [環境]	教育施設	500m以内にある教育施設の数に応じた点数を示す。
	福祉施設	500m以内にある福祉施設の数に応じた点数を示す。
	その他の公共施設	500m以内にあるその他の公共施設の数に応じた点数を示す。
	公園	500m以内にある公園の数に応じた点数を示す。
	総合	教育施設、福祉施設、その他の公共施設、公園に関する判定の結果を総合判定し、環境の視点における点数を示す。
施設重要度	小計	安全、快適、環境の視点における評価を合計した値で、施設重要度の点数を示す。

舗装劣化度、施設重要度の点数を合計して評価点を算出し、優先順位を評価した。また、住民要望について整理した。優先順位の評価における項目を整理すると表4.3に示すとおりである。

表4.3 優先順位の評価における項目

項目	項目内容
評価点合計	舗装劣化度、施設重要度の合計値で、優先順位の評価を示す。
要望	住民からの要望を示す。要望がある場合は「○」を記載する。

前項までの内容を踏まえて、舗装維持管理計画を作成した。舗装維持管理計画の項目について表4.4に示す。

表4.4 舗装維持管理計画の項目

項目	説明	
基本項目	路線番号	網図に記載された路線番号
	路線名	網図に記載された路線名
	距離標（自）	評価単位区間(100m)の起点の距離標
	距離標（至）	評価単位区間(100m)の終点の距離標
	区間長	評価単位区間の延長
計測値	ひび割れ率(%)	ひび割れ率の計測結果
	わだち掘れ量(mm)	わだち掘れ量の計測結果
舗装劣化度	ひび割れ率	ひび割れ率を点数化
	わだち掘れ量	わだち掘れ量を点数化
	小計	ひび割れ率とわだち掘れ量の点数の合計値
施設重要度 [安全]	人口密度	人口密度が高い地区の該当の有無を点数化
	小計	施設重要度の安全に関する点数の合計
施設重要度 [快適]	接続道路	国県道の接続道路に該当する有無を点数化
	路線種別	バス路線に該当する有無を点数化
	小計	施設重要度の快適に関する点数の合計
施設重要度 [環境]	教育施設	教育施設から500m以内の該当の有無を点数化
	福祉施設	福祉施設から500m以内の該当の有無を点数化
	その他の公共施設	公共施設から500m以内の該当の有無を点数化
	公園	公園から500m以内の該当の有無を点数化
	総合	施設重要度の環境に関する点数の総合判定
施設重要度	小計	施設重要度の安全、快適、環境の点数の合計値
評価	評価点合計	舗装劣化度、施設重要度、住民の点数の合計値
	要望	住民からの要望を設定
	修繕区分	舗装劣化度による修繕区分の区分
	MCI	計測値から算出した舗装の劣化状況の指標
修繕工法・費用	平均幅員	路線の平均幅員
	面積	区間長×平均幅員により算出
	修繕工法	劣化状況により想定される工法
	修繕費用	修繕工法の単価×面積により算出
	修繕計画	修繕の計画年度

路線毎の優先順位を判定するため、各区間の優先順位（舗装劣化度、施設重要度、評価点合計、要望）を集計し、要望、評価点合計で降順に整理した。整理した結果を表4.5に示す。また、1級町道、2級町道の別に整理した結果を表4.6、表4.7に示す。

表4.5 路線毎の優先順位

順位	路線名	舗装劣化度 (点)	施設重要度 (点)	評価点合計 (点)	要望
1	009 米生滝下線	59.6	1.5	61.2	○
2	143 二瀬本花上線	48.1	1.9	50.1	○
3	105 仮屋神ノ前線	48.7	0.9	49.6	○
4	124 陣之尾線	65.1	1.0	66.1	
5	133 大川井無田線	63.1	0.8	63.9	
6	121 下大川線	56.6	6.1	62.6	
7	136 今馬見原線	58.0	1.4	59.5	
8	002 下市畑線	54.0	5.4	59.4	
9	131 長成小幡線	58.9	0.4	59.3	
10	149 大川辛木川線	54.7	4.3	59.0	
11	150 古園一里木線	53.6	3.7	57.4	
12	108 上寺造別当線	55.1	2.2	57.2	
13	132 大矢貸上線	55.0	0.2	55.2	
14	125 杉木入佐線	54.3	0.9	55.2	
15	111 新小讓原線	55.0	0.0	55.0	
16	101 稻生野牛が瀬線	53.3	0.5	53.8	
17	129 西緑川線	52.6	0.6	53.2	
18	135 滝下赤木舞岳線	52.4	0.6	53.0	
19	102 上川井野日名田線	52.2	0.0	52.3	
20	106 川内小川線	51.3	1.0	52.2	
21	109 冷水後迫線	51.5	0.1	51.7	
22	123 西谷線	49.0	1.8	50.7	
23	120 昭午町上寺線	45.2	3.3	48.4	
24	116 金内白木谷線	47.5	0.7	48.2	
25	126 入佐小笹線	46.8	0.7	47.5	
26	130 安方組崎線	46.4	0.6	47.1	
27	114 金地大多良線	46.7	0.3	47.0	
28	003 牧野上司尾線	41.6	5.1	46.7	
29	134 平野法連寺線	45.1	0.1	45.2	
30	112 瀬戸福良線	42.6	2.2	44.8	
31	113 長谷下鶴線	42.5	2.3	44.8	
32	128 小峰河鶴線	42.6	1.2	43.9	
33	018 大川大矢線	42.2	1.4	43.6	
34	001 小笹井無田線	42.9	0.6	43.4	

順位	路線名	舗装劣化度 (点)	施設重要度 (点)	評価点合計 (点)	要望
35	110 浜町下名連石線	41.1	1.7	42.8	
36	004 千滝鮎の瀬線	39.8	2.1	41.9	
37	103 横野木原谷線	40.6	0.8	41.4	
38	118 黒川下名連石線	41.2	0.1	41.3	
39	104 成君小峰線	39.1	1.3	40.4	
40	016 文字ヶ崎安方線	38.8	0.2	39.0	
41	005 藤木猿渡線	36.8	2.2	38.9	
42	011 米生栃原線	36.1	1.3	37.4	
43	006 白小野鶴越線	31.2	2.6	33.8	
44	122 田所稻生原線	28.5	1.1	29.6	
45	137 二瀬本高辻線	24.5	0.3	24.9	
46	141 長谷花立線	22.7	1.4	24.1	
47	007 横町新町線	20.0	3.0	23.0	
48	119 浦川線	20.0	3.0	23.0	
49	013 長谷埋立線	19.8	1.4	21.2	
50	107 杉木田小野線	19.2	1.8	21.1	
51	127 長野小原線	20.0	1.0	21.0	
52	019 文字ヶ崎神の前線	17.7	0.9	18.6	
53	142 野原竹原線	18.2	0.1	18.4	
54	146 上差尾線	11.7	0.0	11.8	
55	015 金内中央線	8.8	1.4	10.3	
56	148 下塩出大迫線	7.5	2.0	9.5	
57	139 土戸線	3.6	1.5	5.1	
58	014 新町線	0.0	4.1	4.1	
59	020 城平新町線	0.0	4.1	4.1	
60	145 菅尾河内谷線	0.0	4.1	4.1	
61	017 大久保下塩出線	0.0	3.4	3.4	
62	147 高畑線	1.7	1.2	2.8	
63	138 大久保米山線	0.0	2.3	2.3	
64	151 椎屋椀山線	1.2	0.7	1.9	
65	012 今八木線	0.0	1.5	1.5	
66	117 柚木砥用線	0.0	1.1	1.1	
67	144 今二津留線	0.5	0.1	0.5	
68	115 津留線	0.0	0.5	0.5	

※ 評価点合計の算出は小数点以下2位を含むため、舗装劣化度と施設重要度の合計に一致しない。

表 4.6 路線毎の優先順位（1級町道）

順位	路線名	舗装劣化度 (点)	施設重要度 (点)	評価点合計 (点)	要望
1	009 米生滝下線	59.6	1.5	61.2	○
2	002 下市畑線	54.0	5.4	59.4	
3	003 牧野上司尾線	41.6	5.1	46.7	
4	018 大川大矢線	42.2	1.4	43.6	
5	001 小笹井無田線	42.9	0.6	43.4	
6	004 千滝鮎の瀬線	39.8	2.1	41.9	
7	016 文字ヶ崎安方線	38.8	0.2	39.0	
8	005 藤木猿渡線	36.8	2.2	38.9	
9	011 米生栃原線	36.1	1.3	37.4	
10	006 白小野鶴越線	31.2	2.6	33.8	
11	007 横町新町線	20.0	3.0	23.0	
12	013 長谷埋立線	19.8	1.4	21.2	
13	019 文字ヶ崎神の前線	17.7	0.9	18.6	
14	015 金内中央線	8.8	1.4	10.3	
15	014 新町線	0.0	4.1	4.1	
16	020 城平新町線	0.0	4.1	4.1	
17	017 大久保下塩出線	0.0	3.4	3.4	
18	012 今八木線	0.0	1.5	1.5	

※ 評価点合計の算出は小数点以下2位を含むため、舗装劣化度と施設重要度の合計に一致しない。

表 4.7 路線毎の優先順位（2級町道）

順位	路線名	舗装劣化度 (点)	施設重要度 (点)	評価点合計 (点)	要望
1	143 二瀬本花上線	48.1	1.9	50.1	○
2	105 仮屋神ノ前線	48.7	0.9	49.6	○
3	124 陣之尾線	65.1	1.0	66.1	
4	133 大川井無田線	63.1	0.8	63.9	
5	121 下大川線	56.6	6.1	62.6	
6	136 今馬見原線	58.0	1.4	59.5	
7	131 長成小幡線	58.9	0.4	59.3	
8	149 大川辛木川線	54.7	4.3	59.0	
9	150 古園一里木線	53.6	3.7	57.4	
10	108 上寺造別当線	55.1	2.2	57.2	
11	132 大矢貸上線	55.0	0.2	55.2	
12	125 杉木入佐線	54.3	0.9	55.2	
13	111 新小讓原線	55.0	0.0	55.0	
14	101 稻生野牛が瀬線	53.3	0.5	53.8	

順位	路線名	舗装劣化度 (点)	施設重要度 (点)	評価点合計 (点)	要望
15	129 西緑川線	52.6	0.6	53.2	
16	135 滝下赤木舞岳線	52.4	0.6	53.0	
17	102 上川井野日名田線	52.2	0.0	52.3	
18	106 川内小川線	51.3	1.0	52.2	
19	109 冷水後迫線	51.5	0.1	51.7	
20	123 西谷線	49.0	1.8	50.7	
21	120 昭午町上寺線	45.2	3.3	48.4	
22	116 金内白木谷線	47.5	0.7	48.2	
23	126 入佐小笹線	46.8	0.7	47.5	
24	130 安方組崎線	46.4	0.6	47.1	
25	114 金地大多良線	46.7	0.3	47.0	
26	134 平野法連寺線	45.1	0.1	45.2	
27	112 瀬戸福良線	42.6	2.2	44.8	
28	113 長谷下鶴線	42.5	2.3	44.8	
29	128 小峰河鶴線	42.6	1.2	43.9	
30	110 浜町下名連石線	41.1	1.7	42.8	
31	103 横野木原谷線	40.6	0.8	41.4	
32	118 黒川下名連石線	41.2	0.1	41.3	
33	104 成君小峰線	39.1	1.3	40.4	
34	122 田所稲生原線	28.5	1.1	29.6	
35	137 二瀬本高辻線	24.5	0.3	24.9	
36	141 長谷花立線	22.7	1.4	24.1	
37	119 浦川線	20.0	3.0	23.0	
38	107 杉木田小野線	19.2	1.8	21.1	
39	127 長野小原線	20.0	1.0	21.0	
40	142 野原竹原線	18.2	0.1	18.4	
41	146 上差尾線	11.7	0.0	11.8	
42	148 下塩出大迫線	7.5	2.0	9.5	
43	139 土戸線	3.6	1.5	5.1	
44	145 菅尾河内谷線	0.0	4.1	4.1	
45	147 高畑線	1.7	1.2	2.8	
46	138 大久保米山線	0.0	2.3	2.3	
47	151 椎屋栴山線	1.2	0.7	1.9	
48	117 柚木砥用線	0.0	1.1	1.1	
49	144 今二津留線	0.5	0.1	0.5	
50	115 津留線	0.0	0.5	0.5	

※ 評価点合計の算出は小数点以下2位を含むため、舗装劣化度と施設重要度の合計に一致しない。

第5章 舗装修繕計画（10ヵ年）策定

前章までの検討結果を基に、平成29年度から平成38年度までの修繕区間の選定、修繕工法の設定、修繕費用を算出し、10ヵ年の舗装修繕計画を策定した。舗装修繕計画を表5.1に示す。策定に当たり、1ヵ年当たりの修繕費用の目標額は5,000万円に設定した。

表5.1 舗装修繕計画

修繕年度	路線名	修繕延長 (m)	修繕費用 (円)
H29	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	355	11,431,071
	143 二瀬本花上線	400	13,118,600
H30	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	400	13,118,600
H31	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	400	13,118,600
H32	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	400	13,118,600
H33	009 米生滝下線	260	18,972,408
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	300	12,461,350
H34	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	400	13,118,600
H35	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	300	12,461,350
H36	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	420	13,774,530
H37	009 米生滝下線	300	21,891,240
	105 仮屋神ノ前線	400	12,880,080
	143 二瀬本花上線	400	13,118,600
H38	009 米生滝下線	400	29,188,320
	105 仮屋神ノ前線	400	10,924,200
	143 二瀬本花上線	300	8,842,900

舗装修繕計画について、年度別に修繕延長、修繕費用を整理すると表5.2に示すとおりである。また、路線別に路線延長、修繕対象延長、修繕延長、費用を整理すると表5.3に示すとおりである。

表5.2 年度別の修繕延長、修繕費用

修繕年度	修繕延長 (m)	修繕費用 (円)
H29	1,055	46,440,911
H30	1,100	47,889,920
H31	1,100	47,889,920
H32	1,100	47,889,920
H33	960	44,313,838
H34	1,100	47,889,920
H35	1,000	47,232,670
H36	1,120	48,545,850
H37	1,100	47,889,920
H38	1,100	48,955,420

表5.3 路線別の路線延長、修繕対象延長、修繕延長、費用

路線名	路線延長 (m)	修繕対象延長 (m)	修繕延長 (m)	修繕費用 (円)	完了見込み率 (%)
009 米生滝下線	11,055	10,598	3,060	223,290,648	28.9
105 仮屋神ノ前線	4,608	3,955	3,955	125,395,911	100
143 二瀬本花上線	4,282	3,720	3,720	126,251,730	100

※ 修繕費用の算出に復興歩掛を用いています。